

**「全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業（日本一施策事業）」  
選定取組一覧（平成26年度に実施した事業）**

## [取組の類型]

区分	考え方
① 独自性 (日本で唯一、宇都宮独自)	地域の資源やアイデアを活用し、宇都宮らしさや独創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの
② 先駆的 (日本で先駆け)	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国に先駆けて取り組むもの
③ トップクラス (日本でトップクラス)	活動量やその成果などが客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの

## [取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>【新たに選定した取組】 5取組</b>					
1	健診PR応援事業	特定健診やがん検診等の受診率向上を目的として、市が実施している全ての健康診査の受診者に対し、「健診PR応援企業として市に登録した企業」による特典サービスの提供を行う。	独自性	H26年度	健康増進課
2	自死遺族支援のためのマニュアルの作成	支援を行う者が、自死遺族に対して適切に支援できるように、遺族への接し方や保険など遺族が行うべき手続きなど必要な知識や情報をまとめ、1,000部作成し、保健師や行政関係職員、民生委員・児童委員、警察官などの自死遺族の支援を行う者に配布した。	先駆的	H26年度	保健予防課
3	「オープンデータ」の公開	行政が保有する公共データを市民・企業の誰もが二次利用可能なルールで、コンピュータが処理しやすい形式により公開する「オープンデータ」を推進することにより、公共データの新たな活用を促し、経済の活性化や地域課題の解決、本市行政の透明性・信頼性の向上などを図るもの	トップクラス	H26年度	情報政策課
4	返還免除型育英修学資金貸付制度	大学、短期大学、専門学校（専門課程）の在学者を対象に貸付するもので、奨学生が、最終学校卒業後1年以内に本市に居住し、引き続き、5年間居住を継続することを要件に、返還を免除する制度	先駆的	H26年度	教育企画課
5	「通学路交通安全プログラム」の策定	通学路の交通安全を確保するため、教育委員会・学校、道路管理者、警察が主体となり、スクールゾーンの設定の考え方や通学路の危険箇所を関係者が合同で点検する手順などをまとめたプログラム	独自性	H25年度	学校健康課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>【過去に選定済みの継続した取組】 76取組</b>					
<b>&lt;健康・福祉・安全分野&gt; 16取組</b>					
1	みやシニア活動センターの設置・運営	シニア世代の経験や知識を地域に生かすため、第2の人生の生活設計や地域活動などの生活設計のアドバイスを実施	先駆的	H20年度	高齢福祉課
2	高齢者グループホームにおける国基準を上回る居室床面積の設定	高齢者グループホームの居室の床面積は、国の基準では「7.43㎡以上」としているが、本市では条例で「10.65㎡以上」と規定しており、より広い居住空間を確保することにより、使い慣れた家具等を設置したり、ベッド・車椅子を利用しやすとした。	独自性	H24年度	保健福祉総務課
3	ユニバーサルデザイン文書マニュアルの策定	すべての人に分かりやすい文書・印刷物を作成する指針として、文字の大きさや配色などの配慮事項を盛り込んだ文書マニュアルを策定。各頁に音声コード（SPコード）掲載	独自性 先駆的	H22年度	保健福祉総務課
4	障がいのある人に対する情報バリアフリー推進ガイドラインの策定	障がいのある人が情報を円滑に取得・利用し、意思表示や意思疎通を図れるよう、障がい特性に応じた配慮事項や災害緊急時の対応等を掲載	先駆的	H24年度	障がい福祉課
5	重症障がい児（者）医療的ケア支援事業	日中活動の場の確保等のため、医療的ケアが必要な重症障がい児（者）を医療機関や福祉施設などで一時的に預かる事業	先駆的	H20年度	障がい福祉課
6	市庁舎内障がい支援施設等製品販売所「わくわくショップU」の設置	障がい者の就労及び工賃水準の向上を図るため、市内の障がい者支援施設で製作された製品の販売コーナーを常設	先駆的	H21年度	障がい福祉課
7	「わく・わくアートコンクールinうつのみや」の開催	障がい者のアート作品コンクール。入賞作品を市内6か所で巡回展示するほか、作品を掲載したカレンダーを作成し、企業等に配布	独自性 先駆的	H22年度	障がい福祉課
8	新たな二次救急医療体制の構築	救急告示医療機関の連携を強化し、輪番制病院を支える体制を構築・稼働。15救急告示医療機関を輪番制病院と協力病院等に位置づけ、医療体制確保のための財政支援等を実施	独自性 先駆的	H21年度	保健所総務課 消防本部警防課
9	保健情報誌「みや健康ナビ」の発行	感染症や食中毒予防など、日常生活に密着した保健情報を提供（年2回発行）。モニター調査員制度により、継続的に意見聴取	独自性	H23年度	保健所総務課
10	子育て世代の託児付き子宮がん・乳がん検診の実施	ボランティアサークルの協力のもと、託児が無料でできるがん検診を実施	独自性 先駆的	H22年度	健康増進課
11	妊産婦に対する支援の推進	子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず、子どもに恵まれない夫婦への経済的支援及び安心して妊娠・出産できる支援の体制として、不妊治療費や妊産婦医療費を助成	トップクラス	H21年度	子ども家庭課
12	障がい児発達支援の推進	全国に先駆け、子ども発達センターを設置し、保健師や保育士、理学療法士等の専門職により、相談から療育まで一貫して対応 また、保育園併設専用施設において、就学前の障がい傾向児及びその保護者に対し、相談・助言、遊びを通じた子育て支援、及び交流の場を提供	独自性 先駆的	H19年度	子ども発達センター 保育課
13	食品安全条例の制定	食品の安全確保に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための「計画の策定」や不良食品を排除するための「自主回収届出制度」などを規定した条例の制定	独自性 先駆的	H19年度	生活衛生課
14	グリーンアンドレッドリボン運動	市民や地域、事業者などあらゆる機関、団体が一丸となって飲酒運転を許さない地域づくりを進めるために、GRリボンを交通安全運動や地域イベントなどの機会、事業者、学校などを通して市民に配布することで、飲酒運転根絶に係る気運を醸成する。	独自性	H18年度	生活安心課
15	消費生活相談窓口の常時開設	年末年始を除く全ての日において相談窓口を開設	先駆的	H19年度	生活安心課
16	国・県・市災害対策連絡協議会の設置	国、県及び市の連携組織の設置と合同訓練の実施	独自性 先駆的	H19年度	危機管理課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>&lt;教育・学習・文化分野&gt; 34取組</b>					
1	宮っ子の誓いの制定	「宮っ子の誓い」カードを市内の全小中学生に配付し、「宮っ子の誓い大使」等の認定を行うとともに、25年度には、「宮っ子の誓い」に掲げる行動の実践を要件とした「宮っ子心の教育表彰」の制度を創設	独自性	H19年度	教育企画課
2	私立等小中学校との連携推進	「みや人づくりカンファレンス」（学校長級）、「私立公立学校連絡会」（事務担当者級）を設置し、私立等学校を含めた市内全義務教育学校の相互理解を深め、課題検討のための意見交換を実施	独自性	H22年度	教育企画課
3	学校応援制度	企業名等を掲載した学校用物品（用紙や封筒など）の寄附を積極的に募集する制度	独自性 先駆的	H22年度	教育企画課
4	学校物品有効活用システムへのポイント制導入	学校物品有効活用システムを使用し、学校間の物品の貸借や譲り受けによりポイントを付与し、学校の配当予算に還元 ・地域学校園ごとに保有物品のリストを作成し、システムの利用拡大を推進	先駆的	H20年度	学校管理課
5	学校応援基金の活用による特色ある学校づくりの推進	学校を特定した寄付金を受け入れるため、「学校応援基金」を創設し、地域と一体となった学校づくりを推進 ・「魅力ある学校づくり地域協議会」が基金を設立し、管理・運営を実施し、地域の支援による特色ある学校づくりを推進 ・「魅力ある学校づくり地域協議会」が独自に運営資金を確保できる仕組みづくりに役立つよう、「学校応援基金ガイドライン」を作成	先駆的	H21年度	学校管理課
6	地域学校園事務室の推進	・中学校区を単位とする地域学校園（中学校1校と小学校2～4校）の学校事務職員で構成 ・地域学校園事務室長を配置し、学校事務の効率化・平準化や教員の負担軽減、地域学校園予算の効果的な執行、職場研修など、各地域学校園の実情に応じたさまざまな取組を実施	独自性	H24年度	学校管理課
7	「小中一貫教育・地域学校園」の推進	独自の「会話科」や基礎教科の時数増加などを特徴としたカリキュラム、地域教育力を生かした学校教育活動支援 ・学力向上非常勤講師や外国語指導助手の配置 ・月1回程度の「小中一貫の日」による小中教職員の連携 ・事務職員同士が相互支援を行うための地域学校園事務室の設置 ・学校一人配置教職員（養護教諭、事務職員、学校栄養職員等）との連携や、土曜授業の実施等	独自性	H22年度	学校教育課
8	スタンダードダイアリー の活用による学校と家庭 の連携推進（いきいき学 校プラン推進事業）	「スタンダードダイアリー」（学校教育スタンダード、宮っ子の誓い、心を育てる50の言葉、食育等の内容を一体的に掲載）を作成し、児童生徒が毎日使用する連絡帳や生活ノートとして活用	独自性 先駆的	20年度	学校教育課
9	「防災教育の手引き」の 作成	災害発生時に各学校において適切な対応がとれるよう、特に、本県で発生頻度が高い雷や竜巻を含めた指導事例や地震発生時の対応などを掲載	独自性	H25年度	学校健康課
10	元気っ子健康体力チェッ ク	全ての児童生徒を対象に、「新体力テスト」を実施し、本市独自に体力テストと食を含めた生活習慣に関するアンケート結果を分析し、児童生徒の体力向上や健康保持に活用	独自性	H21年度	学校健康課
11	小・中学校全校及び給食 センターへの栄養職員の 配置	全市立小中学校で、質の高い給食の提供や食育の指導を進められるよう、栄養教諭・学校栄養職員の未配置校へ、本市独自に学校栄養士業務嘱託員を配置	先駆的	H20年度	学校健康課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
12	学校給食による地産地消・食育の推進	学校給食を活用して「地産地消」を推進できるよう、市中央卸売市場等と連携して、本市農産物を生産者等の情報とともに学校へ納入するシステム（うつのみや菜ハイウェイシステム）を市独自で構築	独自性 先駆的	H15年度	学校健康課
13	宇都宮版準備運動「みや!!元気っ子たいそう」の考案	児童生徒の体力や技能を増強する動きを取り入れた宇都宮版準備運動「みや!!元気っ子たいそう」を様々な機会に活用。小中学校教員が内容構成・撮影を行うとともに、保護者が「宇都宮の歌」を編曲し、西原小学校の児童が出演するなど、関係者の手作りにより指導用DVDを作成	独自性	H22年度	学校健康課
14	「お弁当の日」の実施	お弁当の献立立案等を通じて、食事について親子で共に考える機会を創出し、自分の健康を考え、判断し、実践できる子どもを育成するため、小中9年間の発達段階に応じた本市独自のねらいを設定し、全市立小中学校で「お弁当の日」を実施	独自性 先駆的	H20年度	学校健康課
15	教養講座「宮の朝活」の開催（前期・後期）	早朝の時間を有効に活用し、多忙で日ごろ講座や勉強会に参加できない20代から40代の就労世代を対象に、最新の時事問題やまちづくりをテーマに教養講座を開催。講義後は、講師と朝食をとりながら意見交換、参加者間の交流も促進 ・後期講座を前期受講者（企画運営委員）との協働による企画・運営（25年度～）	先駆的	H25年度	生涯学習課
16	家庭教育支援事業の推進	学習機会の提供や、学校・家庭・地域・企業等と連携した支援など、総合的な取組を推進 ・親学出前講座の実施 ・保護者と児童・生徒を対象とした情報誌「こどもるっくる」の発行（年2回） ・家庭教育支援ボランティア「家庭教育サポーター」養成（22年度～） ・家庭教育支援団体等と連携した「親学講座」 ・人の集まる場所での親学イベントの実施（24年度～）	独自性	H20年度	生涯学習課
17	宮っ子ステーション事業の推進	・放課後児童健全育成事業や放課後子ども教室事業 ・乳幼児と保護者の交流（子どもの家）（平日午前） ・小学校全児童を対象とした体験・交流活動（土曜午前）	独自性 先駆的	H19年度	生涯学習課
18	「うつのみや地域教育メッセ」の開催	地域活動団体、生涯学習団体や市民が、交流しながら活動紹介や情報交換を行う「うつのみや地域教育メッセ」を開催し、地域活動の活性化や活動機会を創出	先駆的	H20年度	生涯学習課
19	視聴覚ライブラリーの運営と市民団体の映画会活動	16ミリフィルム教材貸出本数が、全国でトップクラスの活動を展開 ・Google, Yahooでのホームページ検索 全国1位	トップクラス	H15年度	生涯学習課 （視聴覚ライブラリー）
20	うつのみやこども賞	児童自身が優れた図書を選定する事業を実施 ・年間の最優秀作品を「うつのみやこども賞」として顕彰	先駆的	S59年度	生涯学習課
21	「家庭の教育手帳」による家庭における人づくりの推進	小中学校9年間を通した子どもの教育に関する便利帳を作成し、市内全小中学校の保護者へ配付。子どもの学齢期に応じた取組や成長記録、学校の仕組みを一体化させた保護者向け冊子で、座談会、インタビュー結果等を反映	独自性	H22年度	生涯学習課
22	地域教育の推進（地域人材の育成拠点「人材かがやきセンター」の設置）	地域を支える人づくりの拠点を設置し、学校・家庭・地域など活動する場所や活動レベルに合わせた育成事業（Vスタッフ養成や定年後の成熟期世代を対象とした地域デビュー講座等）を実施するほか、先駆的・モデル的な講座も実施	独自性 先駆的	H22年度	生涯学習課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
23	宇都宮市成人式事業に係る広告事業及び協賛制度の導入（新成人応援制度）	成人式会場に、協賛する地域企業等名を印字したポスターを掲示する協賛制度（中核市初）と併せ、案内状・プログラムに広告を掲載する広告事業を導入 25年成人式からは、ポスターを縮小したものを新成人に配布	独自性 先駆的	H23年度	生涯学習課
24	魅力ある学校づくり地域協議会の設置・運営	・市内全93小中学校区において、学校教育の充実に向けた機能、家庭・地域の教育力向上に向けた機能を併せ持つ協議会を設立。（18～21年度） ・「宇都宮版コミュニティ・スクール」として本市独自の運営体制を構築 ・地域住民や保護者による学校経営への参画、コーディネーターによる学校支援ボランティアの調整、学校への寄付の受け皿として「学校応援基金」の設立など、学校と地域をつなぐ役割を担う。	独自性	H18年度	生涯学習課 学校教育課
25	多様な市民が集い、宮っこを育む複合拠点「南図書館」の運営	指定管理者制度を導入することで、民間のノウハウを活かした交流スペースの活用やコンサートの開催、児童書・教育・子育て関連資料の充実、学校支援室の設置、保育士が常駐するプレイルームの運営などのサービスを実施	独自性	H23年度	生涯学習課 （図書館）
26	子どもの読書推進（子どもの読書環境の充実に向けた図書館づくり）	・学校図書館司書の全校配置、学校支援室設置（南図書館）、学校支援サービスの拡充等 ・1か月当たりの読書量：小学生28.0冊、中学生10.0冊 ・図書館の児童書蔵書数：575,961点 ・図書館の児童書の貸出点数：1,503,763点 ・高校生向け情報誌「MIYATEEN」発行 ・高校生以上を対象とした「読書推進ガイドブック HON-miya」の発行（宇都宮市立図書館）	独自性 トップクラス	H18年度	生涯学習課 （図書館） 学校教育課
27	図書館における財源確保	・不用になった図書館資料を、年4回市民に有償で提供 ・雑誌スポンサー制度（23年度～） 民間事業者等が購入費を負担した図書館雑誌の最新号のカバーに広告を掲載 ・図書館カレンダー・しおりへの広告募集	先駆的	H23年度	生涯学習課 （図書館）
28	妖精によるまちづくりの推進	全国でもユニークな妖精をテーマとした公立展示施設「妖精ミュージアム」を拠点に、妖精資料を活用した活動を展開	独自性	H15年度	文化課
29	一学校一文化財保護活動の推進	学校と地域が協働で瓦塚古墳群や城山のシダレザクラなど文化財の清掃や保護活動等を実施	独自性	H17年度	文化課
30	エスペール文化振興業	文化芸術活動が顕著な本市ゆかりの若手芸術家に賞を授与する本市独自の制度	独自性	H13年度	文化課
31	百人一首のまちづくり	平成7年の市制100周年を機に本市ゆかりの百人一首市民大会を開催。一般市民を対象とした公的機関が主催する大会としては、全国最大規模	独自性 トップクラス	H8年度	文化課
32	冒険活動教室の実施	全小中学校を対象とした独自の自然体験活動、各学校の要望に応じた豊富な活動プログラム ・中一ギャップ解消のため、地域学校園内の小学校や中学校との交流、職員連携（23年度～） ・小中一貫教育を踏まえ、小学校での経験を深める活動（25年度～）	独自性	H8年度	スポーツ振興課
33	特別支援教育の推進	中核市で一番早く特別支援教育に関する基本計画を策定するとともに、全小中学校内に特別支援教室（かがやきルーム）を設置し、通常の学級に在籍する発達障がい等の傾向にある児童生徒の個別指導や小集団指導を実施。22年度から企業の協力を受け、中学校特別支援学級生徒を対象とする「写真教室」及び「合同写真展」を開催	先駆的	H20年度	教育センター
34	不登校児童生徒の適応支援事業の推進	全国に類を見ない個別対応型の適応支援教室「まちかどの学校」を設置。1対1の個別対応から開始し、集団を苦手とする児童生徒にも対応するほか、約50のゼミ活動を設定し、個別に活動プログラムを編成	独自性	H16年度	教育センター

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>&lt;生活環境分野&gt; 6取組</b>					
1	もったいない運動の推進	ひと・もの・まちを大切にしたい本市独自のもったいない運動を「もったいない運動市民会議」と一体となって推進しており、平成26年度は、認知度の向上だけでなく、運動の実践者を促すような「もったいないクールシェア」など市民・事業者を巻き込んだ事業を展開したほか、facebookなどSNSを活用した情報発信を開始	独自性 先駆的	H17年度	環境政策課
2	「宇都宮市環境協定」の推進	・市と事業者との間で、環境負荷への低減等に係る協定を締結 ・工場見学会やパネル展示、騒音・振動の測定機器の貸し出しなど	先駆的	H20年度	環境保全課
3	水道料金等の収納率	・水道料金 98.48% (H25中核市1位) ・下水道使用料 97.61% (H25中核市2位)	トップクラス	H20年度	サービスセンター
4	水道施設におけるクリーンエネルギーの導入	・中核市の水道事業体で初めて導入 ・中核市トップクラスの利用率	先駆的	H19年度	水道管理課
5	水道事業における環境負荷の低減	中核市水道事業体でトップクラス	トップクラス	H19年度	水道管理課
6	安全で良質な水への取組	・給水人口25万人以上の水道事業体で全国初の取得 ・中核市トップクラスのおいしい水達成率	先駆的 トップクラス	H20年度	水道管理課
<b>&lt;産業・経済分野&gt; 6取組</b>					
1	U J I ターン起業促進補助金	市外からのU J I ターンによる新規起業者を対象に、事業・生活拠点に係る経費、法人設立経費を補助	先駆的	H20年度	産業政策課
2	宇都宮版CSRの構築	企業と市民、行政の協働によるまちづくりを促進	独自性	H20年度	商工振興課
3	おもてなし運動の推進	本市来訪者の満足度向上を図るために、「おもてなし推進委員会」と連携して市民のおもてなしの心の醸成を図るとともに、民間事業者と一体となって受入環境の向上を図る。	独自性	H17年度	観光交流課
4	施設愛称によるプロスポーツ応援事業	本市を拠点に活動するプロスポーツクラブに対する市民の愛着と連帯感の醸成、及び本市のブランド力向上を目指すために、市有施設にプロスポーツクラブ名を冠した愛称を付与する。	独自性	H21年度	観光交流課 (都市魅力創造室)
5	ジャパンカップサイクルードレースの開催	・アジア最高位のワンデーレースであるジャパンカップサイクルードレースを森林公園で開催 (H4～) ・日本で初となる、トッププロによる「観戦型クリテリウム (周回型レース)」を中心市街地で開催 (H22～) ・宇都宮城址公園特設コースを会場に、AJOC (日本シクロクロス主催者協会) 公式戦となる「ジャパンカップシクロクロス」を初開催 (H26～) ・クリテリウム5周年を記念して大会までの約1週間をジャパンカップウィークと称し、ジャパンカップミュージアムの開設やオリオンスクエア等で様々なイベントを開催	トップクラス	H4年度	観光交流課 スポーツ振興課
6	競輪場におけるファミリー型レストランの設置	競輪場来場者のみならず、八幡山公園来園者等も利用でき、競輪観戦ができるファミリーレストランを場内に設置	独自性 先駆的	H21年度	公営事業所

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
<b>&lt;都市基盤分野&gt; 7取組</b>					
1	大谷石蔵（旧公益質屋）の活用事業	固有の資源である大谷石蔵（築70年超）を民間レストランに活用	独自性	21年度	地域政策室
2	地域住民が主体となった地域内交通の実施	地域住民が主体となり、運行計画を決定し、地元自治会や企業等から協賛金を募るなど、地域内交通を運営（地域の実情に合わせた独自の運行方式）	独自性	H19年度	交通政策課
3	「自転車のまち宇都宮」の推進	プロサイクルロードレースチーム宇都宮ブリッツェンとの連携等により、施策事業を総合的に展開	独自性	22年度	道路建設課
4	魅力ある都市景観づくり推進活動費交付金	市民の自主的な景観向上の取組を促進するため、市民・事業者の活動費を支援対象とするなど本市独自の交付金制度を創設	独自性	H21年度	都市計画課
5	組合施行による市街地再開発事業の推進	組合施行による市街地再開発事業の完了地区数 7地区（全国市街地再開発協会「市街地再開発2014」の再開発事例より）（同数1位）	トップクラス	S61年度	市街地整備課（再開発室）
6	「もったいないの森 長岡」植樹事業	「樹林地の再生」をコンセプトにした、最終処分場跡地（長岡最終処分場第2埋立地跡地）の市民協働による植樹事業	先駆的	H20年度	緑のまちづくり課
7	平松本町第三地区における「地籍整備型土地区画整理事業」の実施	全国の市町村で初めて、土地区画整理事業を柔軟に運用した「地籍整備型土地区画整理事業」を実施	先駆的	H22年度	東部区画整理事業課
<b>&lt;都市経営・自治分野&gt; 7取組</b>					
1	ネットワーク型コンパクトシティ構想の創出	・本市の人口規模・構造や、都市活動に見合った将来の都市像の形成、独自の多核連携型（拠点化、ネットワーク化） ・H26年度に本市独自の「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」を策定	独自性 先駆的	H26年度 (H20年度)	政策審議室
2	宇都宮大学での「実践・宇都宮まちづくり」講座	宇都宮大学において、全国の市町村で初となる本市職員による講義を実施	独自性 先駆的	H20年度	政策審議室(市政研究センター)
3	政策特集の作成	市政の重要課題の特集を組み、広報紙の添付ハガキ等により、市民の意見や提案を聴取（年4回）	独自性	H15年度	広報広聴課
4	宇都宮ブランド戦略事業の推進	・都市ブランド戦略「宇都宮プライド」の展開 ・情報発信拠点としてアンテナショップ「宮カフェ」を中心商店街に設置、支援 ・宇都宮の暮らしの良さを伝える「ダブルプレイス（2地域生活）」の発信	独自性 先駆的	H20年度	広報広聴課
5	まちづくりセンターの設置・運営	地域活動団体や非営利活動団体、企業、行政が適切な役割分担のもと、公共的課題の解決に自主的に取り組む市民協働の拠点施設として設置	先駆的	H23年度	みんなでまちづくり課
6	DV被害者の自立支援事業の実施	DV被害者の「居場所」を整備し、民間支援団体との協働により、被害者とその子どもに対し、自立支援プログラムを実施	独自性 先駆的	H21年度	男女共同参画課
7	「宇都宮市配偶者からの暴力対策基本計画」の推進	DVを社会的な問題としてとらえ、全国に先駆けた取組を展開（中核市初の基本計画、全国の市町村初のDV被害者アンケート、中核市初の中学生へのデートDVアンケート、本市独自の連携組織）	独自性 先駆的	H20年度	男女共同参画課